

講義番号	020	日時	2021年10月23日 13:30～17:30
講義名	衛星のシステム技術 ～宇宙で生き続ける衛星を作るために～		
講師/所属	中須賀 真一 / 東京大学大学院 工学系研究科		
講義概要 又は目的	宇宙空間という過酷な環境で人の手を離れて長期にわたりミッションを実行しないとイケない衛星において「生き続ける」技術は極めて重要である。それをより確実にするシステム技術について解説する。		
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション： 東京大学の衛星開発の歴史の紹介</li> <li>2. 衛星が生き続けるのはなぜ難しいのか</li> <li>3. サバイバビリティを向上させる手法 <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 1 衛星設計によるアプローチ</li> <li>3. 2 開発プロセスによるアプローチ</li> <li>3. 3 運用によるアプローチ</li> <li>3. 4 その他</li> </ol> </li> <li>4. 軌道上で起こった実際の故障と対処の実例</li> <li>5. まとめ</li> </ol>		

講義に関する 特記事項 (準備事項等)	講義の内容（特に話す順番）は少し変わる可能性あり。
講師略歴	1988年東京大学博士課程修了、工学博士。同年、日本アイ・ビー・エム、1990年より東京大学講師、助教授を経て、2004年より航空宇宙工学専攻教授。UNISEC 元理事長、UNISEC-GLOBAL は設立時より委員長。超小型人工衛星、宇宙システムの知能化・自律化、革新的宇宙システム、宇宙機の航法誘導制御等に関する研究・教育に従事。世界初の CubeSat を含む超小型衛星 13 機の開発・打ち上げに成功。政府の宇宙政策委員会委員。